

# 図書館問題研究会東京支部による区立図書館への 司書職制度要求運動（1978～1984年度）の考察

みない  
葉袋秀樹（図書館情報大学）

## 〔抄録〕

図書館問題研究会東京支部は、1978年度から1984年度にかけて、東京都の区立図書館に司書職制度の採用を求める運動を行った。東京支部刊行の『東京支部ニュース』と運動のためのパンフレット『暮らしに役立つ図書館をささえる力』を資料として、運動の方法と主張の内容を調査し、取り組みの方法、内容、問題点について考察を行った。考察の結果、この運動は目的を達成できなかったこと、主体的力量の不足、理論的根拠の解明の不足など多くの問題点があり、運動の総括が行われていないことが明らかになった。

## はじめに

わが国の公立図書館界においては、図書館職員と住民による図書館運動が盛んである。図書館運動の中心となっている団体の一つが図書館問題研究会（略称：図問研）であり、中でも運動に積極的なのが図問研東京支部（以下、東京支部という）である。

本稿では、東京支部の図書館運動のうち、東京都特別区の区立図書館に司書職制度を導入することを要求した運動について検討する。この運動は、1965年頃から断続的に行われており、1967年～1968年の運動については詳細に明らかにしたが、本稿では、その後の1978年から1984年まで行われた運動を取り上げる。

資料としては、主に東京支部発行の『東京支部ニュース』を用いる。これによって東京支部の活動の概要が把握できる。特に、毎年1回開かれる定例の支部総会の前には「支部総会議案書」が掲載される。この中に「経過報告」と「東京支部任務と課題」があり、これによって1年間の活動状況と次の1年間の方針を把握することができる。そこで、『東京支部ニュース』の「支部総会議案書」を中心とする記事から東京支部の活動と認識を把握し、考察する。

## 1. 東京支部の取り組み—1972～1977年—

東京支部は、1972年に都議会に区立図書館に

司書職制度の設置を求める請願を行ったほか、1973年に区立図書館から区役所の国民健康保険課に異動させられた荒川区職員が、東京都人事委員会に対して、その異動を不当配転として提訴した件について、不当配転闘争を支援する会を結成して支援した。特に、1977年～1978年には、この提訴を支援するために全国署名運動を行い、図書館職員の現状と司書職制度の設置を求める出版物を発行した。

## 2. 東京支部の取り組み—1978～1979年度—

### 2.1 1978年度

#### (1) 取り組みの背景

8月に東京都公立図書館長協議会（略称：東公図）が奥野定通会長名で「区立図書館に司書職制度を導入することについての要望書」を提出した。高い水準を示している三多摩の例を挙げて司書職制度を採用することを求めている。

10月には東京都人事委員会から不当配転提訴に対する裁決が出された。この裁決の趣旨は、配転自体は正当としながらも、図書館に司書を置くことは法の期待するところであり、しかし、司書を置くかどうかはその自治体の判断することであるというものである。

#### (2) 支部総会（10月）

東京支部はこの2つのできごとを受け、支部総会で、1980年度から東京都特別区に司書職制

度を設置するための運動に取り組むことを決定し、東京支部内に支部委員の大部分を中心とする司書職制度対策委員会を設けた。

### (3) 委員会による運動方針 (2月)

委員会は、1980年度に司書職制度を導入するためには、1979年9月の評議会で決定する必要があることから、9月までに区長に働きかけることを計画した。2月段階で、委員会は、4期に分けた計画を立てている。

- ・第1期 準備期間 パンフレットの作成、司書職制度案の検討
- ・第2期 (4月上旬) 1000人集会
- ・第3期 (6月まで) 区長、教育長への要望、陳情
- ・第4期 区長会への行動

## 2.2 1979年度

### (1) パンフレット刊行 (4月)

東京支部はパンフレット『暮らしに役立つ図書館をささえる力ー東京23区に司書職制度をつくろう』(16p)を刊行した。目次は下記のとおりである。

- ・はじめに
- ・このような司書職制度がほしい
- ・現在、区立図書館には司書職制度がありません
- ・司書の採用は各地で常識、かつては区でも
- ・司書職制度はみんなが望んでいます
- ・制度の実現をさまたげてきた考え方
- ・司書職制度をつくるのはなぜ自治体の責務なのでしょうか
- ・みなさんの力強いご支援を
- ・23区司書職制度 (案)
- ・東京23区図書館状況

### (2) 臨時支部総会 (4月)

次に、臨時支部総会で取り組み計画を決定した。おおむね次のような内容である。

- ・目標：80年に23区への司書職制度導入
- ・特別区人事組合 (区長会) を動かす
- ・取り組みの計画：署名、カンパ、パンフの普及、出版、対区・区議会、人事組合への陳情
- ・請願、大集会

### (3) 第1回大集会 (5月)

第1回の大集会が行われた。主催は東京支部で、参加者は268人であった。司書職制度の実施を求める「宣言」を採択した。

### (4) 支部総会 (11月)

「23区の司書制度のカベは大変厚く、私たちの思いとは著しくかけ離れています」「各区5万人の署名を新たに目標として決めたにもかかわらず、10月初め現在の署名数は1万2千人で、まだまだ精力的に署名運動にとりくまなくてはならない状況である」と述べている。

そして、計画を1年延期し、1981年度の決定、1982年度の採用試験の実施をめざし、改めて運動方針を定め、司書職制度委員会に代えて司書部会を設けた。

### (5) 第2回大集会 (11月)

第2回大集会が開かれた。東京支部と児童図書館研究会 (略称：児図研) の主催で、親子読書地域文庫全国連絡会 (略称：親地連) が協力し、基盤は広がったが、参加者は200名で第1回を下回った。1980年度実施を求める「要請書」を採択している。「集会宣言」では「残念ながら、司書制度をつくるという動きは二三区当局の中では起っていません。予想はしていたものの行政の壁は厚いと思わずにはおれません」とあり、「区民の1割の署名を集めましょう」と述べている。

### (6) 要請行動

集会前に、図問研東京支部は区長会及び教育長会の担当主査に要請し、12月には、親地連、児図研、図問研が教育長会会長に要請を行なっている。その後、教育長会は特別区館長会に検討を下命した。

## 3. 東京支部の取り組みー1980～1984年度

### 3.1 1980年度

#### (1) 『東京の図書館は訴える』出版 (7月)

第1回と第2回の大集会の記録のほか、「司書職制度の経過と問題点」「23区司書制度案」を収録している。

#### (2) 支部総会 (7月)

運動の進め方について「全体として状況をき

り開いていく主体的な提案がきわめて弱いものでした」とし、原因のひとつとして「いろいろな課題のあるなかで、この問題について位置づけを明らかにして、十分時間をとるなどの提案をするねばりに欠けたこと」を挙げている。

### (3) 23区民集会 (10月)

区立図書館に司書を採用する23区民集会を開いたが、参加者は45名である。23区長、教育長、図書館長宛ての「質問書」を出している。

## 3.2 1981年度

### (1) 支部委員会による総括 (11月)

支部委員会から次のような「司書制度づくりの運動の総括と今後の方針」が出されている。

とりくみの成果

- ・署名2万1000名
- ・パンフ普及活動
- ・1979年5月、11月の大集会
- ・世田谷区、墨田区、練馬区で請願、陳情
- ・練馬区、中野区、大田区、豊島区で区民集会
- ・都内有識者へのアンケート調査
- ・区議・区長選に向けて候補者へのアンケート調査

「行政の壁は我々が予想した以上に厚く、きびしい」「運動も長期のとりくみの中で下火になっています。職場では「もうおわた問題」と認識されているようにも思えます」「現在のこの運動は一服状態にあります。私達はこの運動を再度、長期的な展望のねばりつよい運動としてとらえ、再構築していく必要があります」

具体的な方針として次の点を挙げている。

- ・各区での職員・住民集会の開催
- ・「図書館を考える会」などの組織を地域につくり根づかせていく
- ・社会的アピールを行う：82年 5～6月教育者集会を行う、学生集会を考える、「図書館員物語」を出版する
- ・司書制度づくり運動の理論化、政策化  
「図書館になぜ司書が必要なのか、公務労働とはそもそも何なのか、私達の理論を構築していく必要があります」
- ・司書の力量をつける

- ・労働組合の支持、職場の合意を得る
- ・他団体との協力関係を維持発展させる

## 3.3 1982～1984年度

### (1) 1982年度

支部総会の「情勢」には「78～79年にとりくんだ司書制度づくりの運動は残念ながら制度実現のメドがつかないまま一段落状態になっています。私達はもう一度下から運動をおこしていかなければなりません」とある。

### (2) 1983年度

支部総会の経過報告には「二. 司書制度づくり」があるが、内容は非常に簡単で、「東京23区に司書制度を求める運動は任務と課題の大きな柱であるにもかかわらず、ほとんど運動らしい運動を展開できませんでした」とある。

### (3) 1984年度

経過報告には「司書制度づくり」の章はなくなっている。「司書制度づくり」は1983年度までの取り組みであった。

## 4. パンフレット『図書館をささえる力』

### (1) このような司書職制度がほしい

司書制度の採用、職名、任用、研修等について述べているが、利用者にとどのようなサービスや業務を行うのかは述べていない。

### (2) 区立図書館には司書職制度がありません

どういう業務のために司書が必要なのかを十分明らかにしていない。

### (3) 司書の採用は各地で常識、かつては区でも

大阪市や名古屋市の例を挙げているが、資料は、政令指定都市では、職員1人当りの貸出冊数の上位2市は、司書率39%の札幌市、42%の福岡市であり、司書率の高さが貸出冊数に必ずしも結びつかないことを示している。

### (4) 司書職制度はみんなが望んでいます

冒頭で「保育園に保育さんがいるのは当たり前です。図書館に司書がいるのも同じことです」とあり、ほかでも「保育園に保育を、病院に看護婦を採用するのと同じように」と述べている。図書館運動の文献に頻繁に出てくる表現であるが、「同じ」である理由を示していない。

#### (5) 制度の実現をさまたげてきた考え方

「労働組合役員の一部にある「住民のためによりよい仕事をしていこうというのは労働者のとる行動ではない」「専門職制度は職場に分断と差別をもたらす」という主張に対して1ページ近くを割いて反論し、「司書職制度にもっとも強く反対していた荒川区職員労働組合の役員」と組織名を挙げて批判している。

#### (6) 司書職制度をつくるのはなぜ自治体の責務なのでしょか

司書率の高い区と低い区の図書館費と貸出冊数の比較を示しているが、司書率が高い区の方が貸出冊数が多いことを指摘しつつも、司書が多いから貸出冊数が多いとは明言していない。また、図書館費などその他の要因があり、司書が多いから貸出冊数が多いとは断定できない。

#### (7) 23区司書職制度(案)

職員の構成では、「図書館職員は原則として館長を含め全員を司書職とする」とあるが、それには司書の係長、管理職への昇任方法を決めなければならない。司書にも事務職と同様の昇任制度を適用するなら簡単であるが、それでは館長は司書になるとは限らない。東京都立図書館でさえ、事務職と同様の昇任制度を適用している。この制度を採用するには、司書の昇任制度を新たに検討しなければならない。

#### (8) 「司書」って何だ?!

司書の仕事内容のかなめは「図書館資料、つまり本のことをよく知っていることでしょう」とあるが、現在の司書はこの点の教育は不十分であり、持つべき知識の基準もない。

### 5. 取り組みの問題点

1978年～1984年の区間研東京支部の司書職制度要求運動には次のような問題点があった。

#### (1) 取り組みの成果

- ・結果として、司書職制度は実現しなかった。特別区館長会による十分な検討は行われなかったようである。

#### (2) 取り組みの方法

- ・行政当局の取り組みが行われているにもかかわらず、それを尊重せず自らの運動を先行さ

せようとした。

- ・区間研は形式上は研究会であるにもかかわらず、署名運動や要請行動を行った。
- ・当時の東京支部には、会員数や総会参加者数から見て、意図した運動を実現する力量はなかった。
- ・1970年代初めに荒川区立図書館職員の区間研会員と荒川区職労執行部との間に組合運動の方針をめぐる対立が生じ、東京支部は区職労執行部と図書館や司書に関する論争を行ったが、今回は自らそれを取り上げた。
- ・図書館関係の学識経験者の参加がほとんど見られず、現場職員の運動にとどまった。

#### (3) 取り組みの内容

- ・司書職制度の採用に関する理論的根拠を示さず、実証的調査を行わず、理論的内容のない要請行動を繰り返すものであった。
- ・司書職制度採用の根拠としては、貸出冊数の増加が挙げられている。
- ・当時、既に自治体行政の合理化が始まっていたにもかかわらず、1970年代の職員観による運動にとどまっていた。
- ・東京都ですら実現していない図書館管理職への司書有資格者の配置を提案した。

#### (4) 取り組みの総括

- ・長期的視野や総合戦略のない短期的視点による運動で、運動の総括や教訓化は行われていない。

### 参考文献

- 1) 図書館問題研究会東京支部『東京支部ニュース』(不定期刊)
- 2) 区間研東京支部『暮らしに役立つ図書館をささえる力ー東京23区に司書職制度をつくらう』1979, 16p.
- 3) 図書館問題研究会東京支部司書部会編『東京の図書館は訴えるー第1回第2回東京23区司書制度要求実現大集会記録』図書館問題研究会東京支部, 1980, 286p.